

演奏活動50周年を彩る名曲集!

アフタヌーン名曲コンサート

前橋汀子

ヴァイオリン・リサイタル

愛の挨拶「エルガー」 シヤコンヌ「ヴィターリ」 ソナタ 第9番イ長調 Op.47「クロイツェル」(ベートーヴェン)

プニャーニの様式による前奏曲とアレグロ、ウィーン奇想曲、中国の太鼓ジブシーの女「クライスラー」

亜麻色の髪の乙女「ドビュシー」 美しき夕暮れ「ドビュシー/ハイフェッツ」 ノクターン 嬰ハ短調「ショパン/サラサーテ」

スペイン舞曲 第一番「アラヤンククライスラー」 ツイゴイネルワイゼン「サラサーテ」



ピアノ：松本和将

2012
7/14 (土)
PM 1:30 開演

愛知県芸術劇場
コンサートホール

全席指定 ¥4,000 学生 ¥2,000 (税込)

お問合せ
お申込み

中京テレビ事業 ☎052-957-3333

〒460-8613 名古屋市中区錦3-15-15 CTV錦ビル6F (月~金 AM9:30~PM5:30 / 土・日・祝日休業)

インターネットからでもお申込み頂けます。 <http://cte.jp> 中京テレビ事業

チケット販売所

チケットぴあ (Pコード 161-227)	0570-02-9999	中日サービスセンター	052-263-7282
愛知芸術文化センタープレイガイド	052-972-0430	イープラス	eplus.jp
ローソンチケット (Lコード 47305)	0570-084-004	名鉄ホールチケットセンター	052-561-7755
栄プレチケ92	052-953-0777	セブン-イレブン店頭	セブンコード (014-983) 他

学生券

ご希望の方は往復ハガキに、希望公演名、公演日時、住所、氏名、年齢、電話番号、学校名、学籍番号を明記の上、中京テレビ事業「学生券」係までお申込みください。公演の3週間前に抽選の上、お席をお取りできるか否かご連絡致します。往復ハガキ1枚につき、1公演1名様でお願い致します。

●曲目等変更になる場合がございます。あらかじめご了承ください。 ●未就学児のご入場はご同伴の場合でもお断り致します。

主催：中京テレビ放送 **FM!ch! 80.7**

3/9 (金) AM10:00~発売開始!

日本を代表するヴァイオリニストのパイオニア

前橋 汀子

(ヴァイオリン)

Toko Maehashi, Violin

日本を代表する国際的ヴァイオリニスト。これまでにベルリン・フィル、ロイヤル・フィル、クリーヴランド管、メータ、サヴァリッシュ、小澤征爾など世界の一線で活躍するアーティストとの共演を重ねている。2005年からは年1回サントリーホールで小品を中心とした親しみやすい「アフタヌーン・コンサート」を開催、大好評を博している。2008-2009年のシーズンには2夜にわたるベートーヴェン・ヴァイオリン・ソナタ全曲演奏会を行うなど、本格的なプログラムにも積極的に取り組む。2008年秋にはミラノ弦楽合奏団と日本ツアーを行い、円熟した演奏を聴かせた。

また、エイベックス・クラシックスに移籍し、8年ぶりにレコーディング活動を再開。「ブラームス&フランク ヴァイオリン・ソナタ」のCDが2009年5月に発売された。また、近年では室内楽にも積極的に取り組んでいる。

2004年日本芸術院賞受賞。2007年第37回エクソンモービル音楽賞洋楽部門本賞受賞。2011年春の紫綬褒章受章。使用楽器は1736年製作のデル・ジェス・ガールネリウス。

ヴァイオリンを始めたきっかけ

自由学園の幼児生活団に通っていた4歳の私は、そこで情操教育の一環としてヴァイオリンかピアノのどちらかを選ぶことになりました。両親も格別音楽に縁がなかったのですが、ピアノよりは小さなヴァイオリンのほうが安易だろう、といった単純な発想で母がヴァイオリンに決めました。それに体が小さかった私には、きっとピアノより小さなヴァイオリンの方が合うだろう、という思いもあったかもしれません。



小野アンナ先生との出会い

5歳のとき、小野アンナ先生のもとで本格的にヴァイオリンの勉強を始まりました。アンナ先生は旧ロシア貴族出身で、物理学者の小野俊一さんと結婚されロシア革命を逃れ日本にいられました。クラシック音楽でさえ大変難しかった当時の日本で、先生は子供たちにヴァイオリンを教えることに全てをかけ、それを生き甲斐とされていました。今の日本のクラシックヴァイオリン界の基礎を作られた方です。週2回の小野アンナ先生のレッスンは祝祭日も一切関係なく、お正月でも休みなしでしたので、子供心にレッスンに行く、ということが何かとても神聖で大変重要な役割を占めているように感じていました。



オISTRAフの演奏を聴いて

「本当にヴァイオリニストになりたい」と思ったのは、日本とソ連の国交回復後初めて来日した、今は亡きヴァイオリンの巨匠オISTRAフのコンサートを聴いたときからです。彼の演奏はそれはまさに楽器があたかも体の一部になって響いている感じで、その時「ロシアに行く」というふうに弾けるようになるのではないかと強く思ったのです。それからは「私は絶対ロシアに行く、行きたい」ということが夢になりました。



いよいよ連へ!

思いはますます強くなり、中学1年のときにロシア語の勉強を始まりました。当時ソ連は共産主義政治体制の時代で、日本でロシア語を勉強するのは、私のような子供は珍しかったはずで、それでも「ソ連に行きたい」という思いだけで、一生懸命勉強していました。海外に行くことさえ大変な時代に、ましてや共産主義体制のソ連に行く、というのは夢のまた夢のような話でした。最初は、両親は勿論反対でした。私は一歩も引かず、一途に「行きたい」という思いで頑張り、そのうち両親も承諾してくれました。高校2年のときに外務省の試験を受け、サント・ペテルブルク音楽院(当時はレニングラード音楽院)の創立100周年記念に日本から初めての留学生として、真夏の横浜港から「モジャイスキー号」でサント・ペテルブルクへ向け出発しました。



松本 和将
(ピアノ)

Kazunari Matsumoto
Piano

幼い頃よりピアノに目覚め、中学3年で第48回全日本学生音楽コンクール全国優勝。

1998年、第67回日本音楽コンクールに優勝し、併せて増沢賞をはじめ全賞を受賞。

その後、ホロヴィッツ記念国際ピアノコンクール(ウクライナ)第3位(1997年)、第53回ブナーニ国際ピアノコンクール(イタリア)第4位(2001年)、2003年には世界三大コンクールの一つ、エリザベート王妃国際音楽コンクール(ベルギー)第5位入賞。

各地でのソロリサイタルをはじめ、これまでブラハマフィル、読売日響、日本フィル、新日本フィル、東京交響楽団、岡山フィル、関西フィル、倉敷音楽祭祝祭管弦楽団他多くのオーケストラと協演。チェコ、中国、ドイツ、スウェーデン、ニュージーランドなどでの演奏会にも出演する。

ピクチャーエンターテインメントより9枚のCDをリリース、各誌で絶賛される。